

令和 5 年度業務の事業実績

1 概 要

令和 5 年度事業については、次のとおり実施した。

2 事業内容

(単位：円)

区 分	事業費	内 容
取組 1 伊豆地域 共通	(次年度へ持ち越し)	GT-FS の活用(サイネージ設置、外国人向け情報提供を含む)
	881,690	サイネージの維持に要する経費
取組 2 半島地 域(賀茂地域)	3,498,000	交通系 IC カードのデータ分析、更新
	462,000	データ更新費用
取組 3 過疎地 域、中山間地域	2,145,000	路線バスの利用拡大に繋がる手段の導入に向けた検討
取組 4 観光面 の取組	993,300	駿豆線沿線訪日外国人向けリーフレットの作成
計	7,979,990 (12,708,000)	予算額：12,809,000 円(運営費・事業費)

令和5年度の事業報告について

令和6年3月

令和5年度事業の概要

2

事業内容

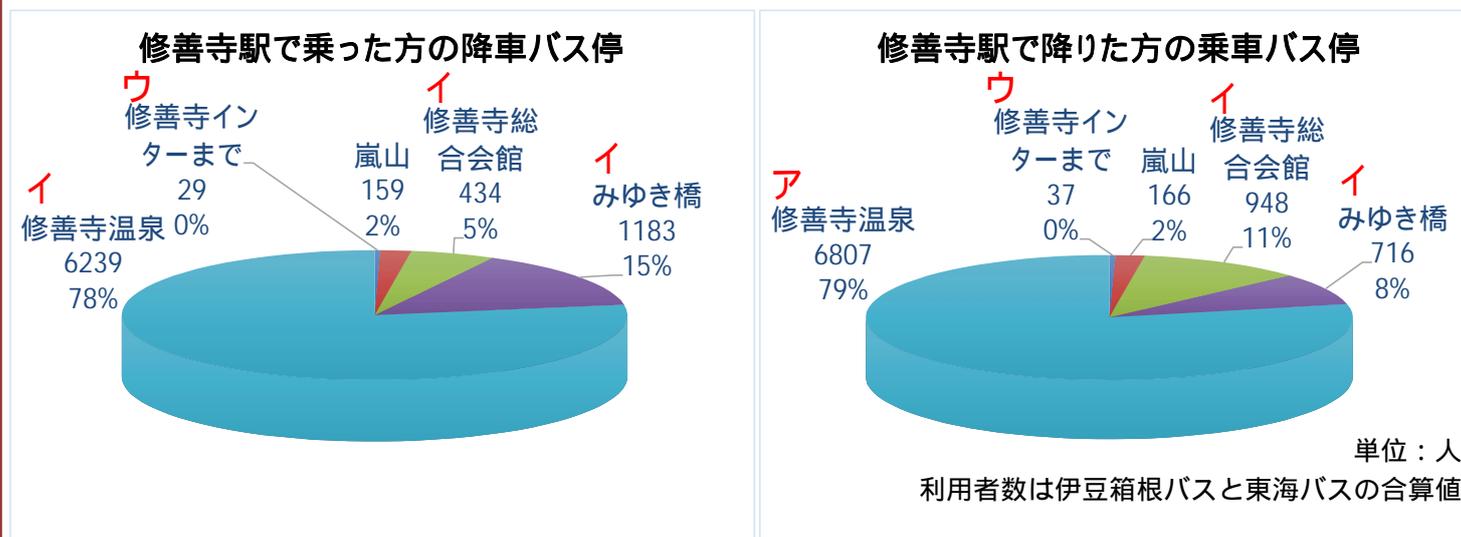
(単位：円)

区 分	実績額 (予算額)	実施	備考
取組1 伊豆地域共通	881,690	サイネージの維持に要する 経費	GT-FSの活用 はR6に延期
取組2 半島地域	3,498,000	交通系ICカードのデータ 活用	詳細は3～7
	462,000	データ更新費用	
取組3 過疎・ 中山間地域	2,145,000	路線バスの利用拡大に繋がる 手段の導入に向けた検討	詳細は8～10
取組4 観光面	993,300	訪日外国人向けリーフレットの 作成	詳細は11
計	7,979,990 (12,708,000)		

交通系 IC カードのデータ活用 (3)

[分析その 1]

修善寺駅で乗った方の降車バス停と、修善寺駅で降りた方の乗車バス停を集計し、視覚化



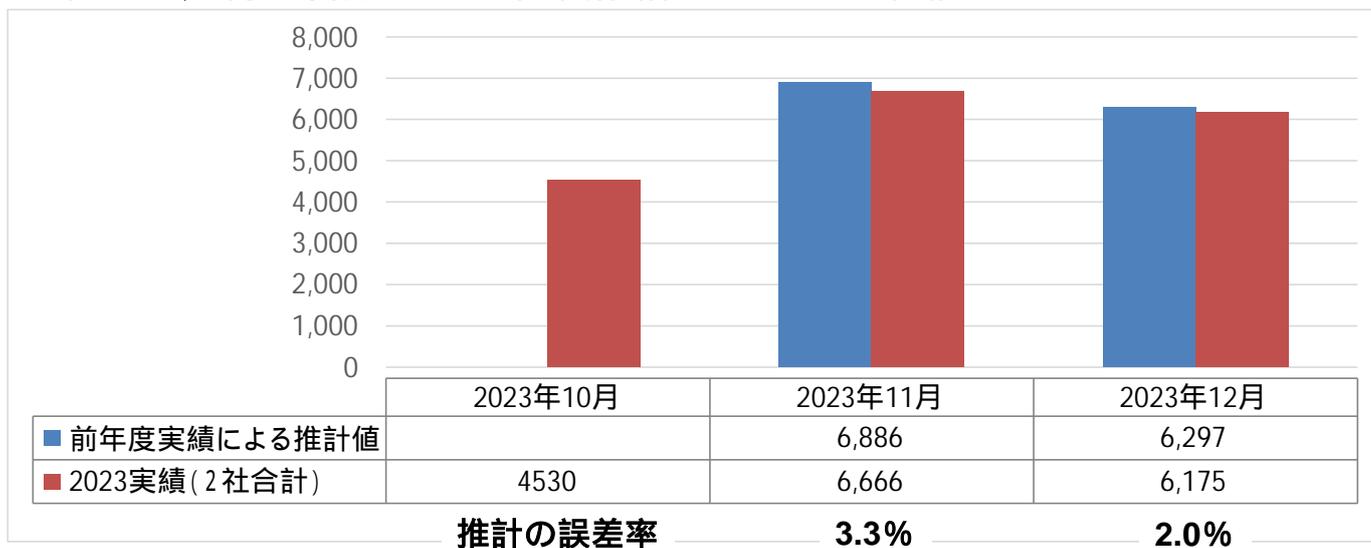
[分析から見えてきたこと]

- ア 修善寺温泉場へ行く利用者よりも、駅に帰る利用者が多い
- イ 行きと帰りで、利用するバス停が異なる方が 5 % 程度いる
- ウ 駅から修善寺インターまでの区間の利用者は非常に少ない

交通系 IC カードのデータ活用 (4)

[分析その 2]

2022年10月と比較した同年11月・12月の伸び率を、2023年10月の実績に乗じて、利用者数をどの程度推計できるのか検証



[分析から見えてきたこと]

- ・観光客の利用者数は、過年度の傾向から大差なく推計できた。
- ・パラメータを増やすなど分析を高度化することで、より早く、より精度良く推計できる可能性がある

交通系 IC カードのデータ活用 (5)

- [仮説に基づく活用アイデアの討議 (抜粋)]
- ・ 駅から修善寺温泉に向かう方の一部が徒歩だと仮定するならば、歩る方の目に入るよう、途中のバス停に修善寺温泉までの距離、バス料金、乗車時間などを掲示してはどうか。歩くのをあきらめバスに乗り方が増える可能性がある。
 - ・ 総合会館からみゆき橋まで歩く人が一定程度いると仮定するならば、トヨタトヨタや超小型モビリティを導入し、温泉街の周遊を促進できる可能性がある。
 - ・ 毎年、季節による傾向が同じだと仮定するならば、季節ダイヤを設定し、需要の多い時間帯に手厚いダイヤを設定することで、利用者増につながる可能性がある。
 - ・ みゆき橋で降りた後、散策する方が多いと仮定するならば、みゆき橋バス停にパンフレットを置くことで、買い物や飲食の需要を喚起できる可能性がある。
 - ・ 毎年、季節による傾向が同じだと仮定するならば、過年度のデータから閑散期を割り出し、時期を絞った集客イベントを企画することも有効だ。
 - ・ 時間帯毎の来客傾向が同じだと仮定するならば、修善寺温泉付近の駐車場で、ダイナミックプライシング (変動料金) を導入することで、駐車場の混雑緩和、渋滞の解消、自家用車から公共交通への転換も期待できる。
 - ・ バス利用とタクシー利用に相関があると仮定するならば、バスの利用状況と、タクシーの運行状況を突合することで、時間帯に応じた配車、増車や減車、駅前での待機車両の適正化などに活用できる可能性がある。

路線バスの利用拡大に繋がる手段の導入に向けた検討 (1)

順天堂バスの持続可能性を探るワーキンググループの設置

順天堂大学直通バス (順天堂バス) とは

- ・ 南伊豆町下賀茂、伊豆急下田駅及び河津駅を經由し、順天堂大学静岡病院まで通院者を運ぶバス路線
- ・ 近年、利用者の減少に伴う赤字の拡大により路線の維持が困難となりつつある



順天堂バスの持続可能性について、多角的に幅広く検討するため、WGを設置

[主な検討内容]

収支改善策、利用促進策
代替の交通手段、路線の見直し など

東海バス 直通順天堂大学病院行 (2023.12.1~)

バス停	時刻	バス停	時刻
下賀茂	6:00	順天堂大学静岡病院	13:35
日野	6:05	近野川橋	13:53
金原車庫	6:06	天城小学校	13:54
吉佐美	6:10	道の駅会館	13:55
下田駅1番線	6:20	出口	13:59
特始	6:23	月ヶ瀬	14:00
上の山	6:25	金原国道口	14:03
西瀬口	6:24	車山	14:05
白濁神社	6:25	湯ヶ島	14:10
長田	6:30	河津七滝ループ橋	14:26
新戸流	6:32	製本	14:38
織物	6:36	湯ヶ野	14:40
河津駅1番線	6:45	温泉堂	14:46
温泉堂	6:49	河津駅1番線	14:50
湯ヶ野	6:55	織物	14:59
製本	6:57	新戸流	15:03
河津七滝ループ橋	6:59	長田	15:05
湯ヶ島	7:25	白濁神社	15:06
車山	7:30	西瀬口	15:11
金原国道口	7:32	上の山	15:12
月ヶ瀬	7:35	特始	15:12
出口	7:36	下田駅1番線	15:15
道の駅会館	7:40	吉佐美	15:25
天城小学校	7:41	金原車庫	15:27
近野川橋	7:42	日野	15:30
順天堂大学静岡病院	8:00	下賀茂	15:35

ご利用の際は、バス乗降機に分かるようにICカードをお持ちください。

お問い合わせ
株式会社東海バス下田営業所
TEL 0559-22-2814



路線バスの利用拡大に繋がる手段の導入に向けた検討（2）

令和5年度の実施内容

ア 調査（アンケート、聞き取り）

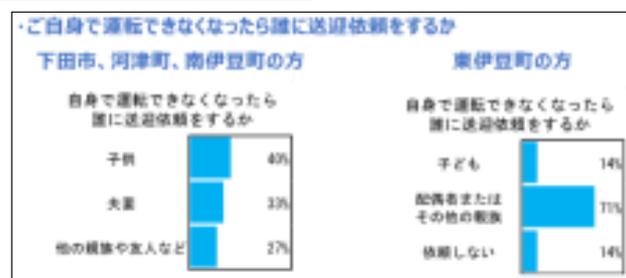
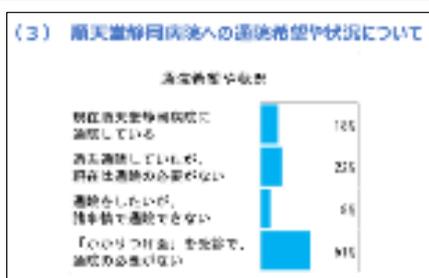
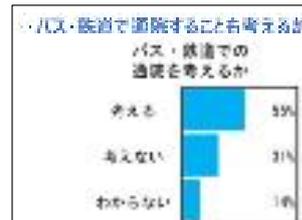
- ・回答者の属性（年齢、住所）、通院の目的、頻度、通院手段等を調査
- ・右表のとおり3種類の調査を実施

順天堂バス車内アンケート	10名
院内聞き取り調査	150名
市町民抽出アンケート	440名

イ 潜在需要の整理

町民抽出アンケート（65歳以上）を基に、潜在需要を探った。

- ・現在、順天堂病院に通院している方は18%。
- ・36%は車を運転しない。通院にはバス又は送迎が必要。
- ・55%はバス・鉄道での通院を考えている。
- ・子供の送迎を期待しているが、70%は同居していない。



路線バスの利用拡大に繋がる手段の導入に向けた検討（3）

ウ 取組の検討

短期的な取組と中長期的な取組についてアイデア出しを行った。

〔短期的な取組についてのアイデア抜粋〕

- ・往復割引の試行、導入
- ・順天堂バスへのサポートスタッフの添乗
- ・バスを利用した通院者に院内食堂の割引券を配布
- ・各地域の集会所、高齢者サークル等でのポスター掲示、チラシ配布

〔中長期的な取組についてのアイデア抜粋〕

- ・バス無料イベントの実施（バス無料ウィークなど）
- ・バス乗降時のスタッフの介助（乗降支援、手荷物の運び入れ）
- ・バスの愛称の募集、バス側面への表示「順天堂病院直行便」
- ・病院の乗降場所から受付まで歩く負担の軽減

〔令和6年度取組に当たってのポイント〕

- ・取組に要する費用の精査・確保、各種補助金の最大活用
- ・中長期的な取組の効果発現までの期間における、患者の通院手段の確保

訪日外国人向けリーフレットの作成



作成部数

使用言語 (文字)	枚数(枚)
中国語 (簡体字)	3,000
中国語 (繁体字)	3,000
朝鮮語 (ハングル)	3,000
英語 (アルファベット)	3,000

パンフレットには、次の事項を盛り込んだ。

- ・ 駿豆線路線図
- ・ 駿豆線運賃表
- ・ きっぷの買い方
- ・ 首都圏からのアクセス
- ・ 駿豆線割引切符の案内
- ・ バスの情報
- ・ 伊豆のグルメ情報
(人気商品、新たな商品等)
- ・ 沿線の観光スポット